



## FRAMED LEATHER LOW TABLE

テーブルトップにタンニンなめしの牛厚革を使用したローテーブル。革はオイルをたっぷりと含んだオイルヌメで、しっとりとした風合いをしている。縫いつなぎ無しの1枚革で製作していて、その面積は総革の財布をおおよそ6〜8本つくれるくらいに大きい。

革の仕上は、表面の質感を最大限に活かす「染料仕上」と呼ばれるもの。この仕上はとても薄化粧で、ナチュラルマーク（牛皮の天然傷）を隠したりもしないので、傷や皺、スジ、虫さされ痕などがそのまま革に残っている。革製品は一般的に、仕上がりを均一にするためナチュラルマーク部分はなるべく避けて材料取りを行う。しかし、FRAMED LEATHER ではナチュラルマークを天然皮革ならではの魅力、革らしさと捉え、無理にはじくことはせず表情として取り入れている。

樹脂でコーティングされたピグメントレザーと違い、革の表面は傷や跡がつきやすく、また、水滴のついたグラスを直に置いて放置していると染みになる場合もあるので、コースターやプレースマットがあった方がよい。最初のうちは神経質になってしまうかもしれないけれど、傷や染みは増えていくうちにだんだん気にならなくなり、いつの間にか味わいに変わる。オイル仕上の無垢材と同じで、使い込みながら育て、変わっていくことを楽しむ、そういう革である。革の色は、合わせやすく落ち着いた色味のブラックとブラウンから選択可。

革の四方をぐるりと囲うフレームは、「FRAMED LEATHER（額入りの革）」という名の通り、額縁が着想になっている。つくり方も実際に額縁をつくるのと同じ技術を用いていて、フレームの角に注目してみると、接合強度を高めるための「契り」が埋め込まれているのがわかる。その他、シャープな陰影を生み出すテーパー切削、角のカーブとR面取り、幕板と脚部の噛み合うような接合など、細かな工夫が随所に凝らされている。

木部は無垢材で、自然な木味と温もりを感じられるオイル仕上。ウォールナットの他、オークでの製作も可能だ。

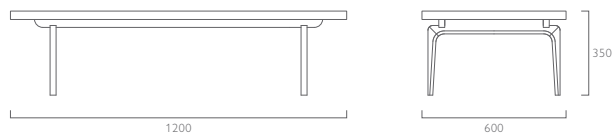
[天板]厚革(タンニンなめし) [天板枠・脚部]ウォールナット無垢材(オイル仕上)/オーク無垢材(オイル仕上) 日本製



TYPE

ZN LEATHER

1260  
W1200  
D600  
H350



[WALNUT]  
[OAK]  
221,500

価格はすべて税込表記です。